

犯罪とジェンダー

【概要】 単に性差・性別ということのみならず、男らしさ／女らしさといったイメージ、男女に割りあてられた役割や社会規範を、広くジェンダーという。構成員の男女比の偏りや役割の違い等を問題にするジェンダーの視点は、社会科学において欠かせないものとなっており、犯罪をめぐる議論も例外ではない。

強姦神話に代表される、ジェンダーに関する偏見や差別（ジェンダー・バイアス）は、司法の中にも存在し当事者に男女非対称に働き、バイアスを再生産する。犯罪に関する学問の法学、犯罪学、被害者学にも、ジェンダー・バイアスの存在が指摘されて久しい。本講義では、犯罪に関する問題をジェンダーに着目して考えるとともに、犯罪をめぐる議論を通してジェンダーの視点を獲得することを目指す。

回数Lecture	担当者Instructor	学修内容Contents of the learning
第1回	牧野 雅子	ジェンダーの定義、ジェンダーの視点
第2回	牧野 雅子	ジェンダー研究の系譜(1)
第3回	牧野 雅子	ジェンダー研究の系譜(2)
第4回	牧野 雅子	犯罪とジェンダー構造
第5回	牧野 雅子	ジェンダーの非対称性(1) 女性犯罪者／男性犯罪者
第6回	牧野 雅子	ジェンダーの非対称性(2) 女性被害者／男性被害者
第7回	牧野 雅子	動機・原因をめぐる議論とジェンダー
第8回	牧野 雅子	セクシュアリティと法
第9回	牧野 雅子	犯罪をめぐる女性運動
第10回	牧野 雅子	警察組織とジェンダー(1)
第11回	牧野 雅子	警察組織とジェンダー(2)
第12回	牧野 雅子	法および法学のジェンダー・バイアス
第13回	牧野 雅子	犯罪報道のジェンダー・バイアス
第14回	牧野 雅子	犯罪学、被害者学のジェンダー・バイアス
第15回	牧野 雅子	まとめ

※ 本サイトはトライアルのために第一次案として公開するものです。

※ 無断転載等、著作権を侵害する行為はお控えください。